

CAP 活動報告書

- ① **グループ名**：CAP (Challenge Acappella Project)
- ② **提案名**：絆歌～アカペラとみなとみらいがつなぐ人々の輪～
- ③ **助成を受けて行った活動の時期及び内容**

活動時期

2011年4月～2011年11月

活動内容

《本番前》

- ・ イベント開催の場所の確保 (みなとみらいグランモール公園 円形広場)
- ・ 機材の調達 (横浜国立大学アカペラサークル stairways より貸借)
- ・ 渉外活動 (関東、関西のグループに出演呼びかけ、招集)
- ・ 広報活動 (チラシづくり、ポスターづくり、当日用看板づくり、横浜国立大学内での宣伝、SNS を使った宣伝)
- ・ 当日スタッフ集め (横浜国立大学アカペラサークル stairways より)



《本番当日》

開催日時：2011年11月12日(土)

内容：アカペラコンサート

タイトル：絆歌～アカペラとみなとみらいが繋ぐ人々の輪～

出演グループ：

AIR FRAG (横浜国立大学アカペラサークル stairways)

あげぱん (早稲田大学アカペラサークル Choco Crunch)

しゅうくん (ゲストソロシンガー)

four*tune (慶應義塾大学アカペラサークル WALKMEN)

GAL ぱん。(横浜国立大学アカペラサークル stairways)

beskey (横浜国立大学アカペラサークル stairways)

当日の様子：

当日はよく晴れて気温もちょうど良く、お客さんにとっては立ち止まって聴きやすく、歌う側にとっては歌いやすい環境だったが、比較的「強風」だった。そのため、スピーカー等の機材が倒れないように重石を置き、事故がないようにスタッフ間でも常に細心の注意を払うようにした。

強風以外の面で天候に恵まれたことに加え、これまでの宣伝活動やバンド招集の工夫、立て看板や音響機材の充実を図ってきたので、このライブを目的に来てく

れる方々だけでなく当日の集客も十分にできた。当日の集客人数としては、ずっと座ってみてくれた方・立ち止まって見てくれた方を総計して、600～700人ほどのお客さんが聴いてくれた。

④ エリアマネジメントにおける効果

今回のエリアマネジメントにおける効果としては、「地域の広報」「地域経済の活性化」「地域への愛着や満足度の高まり」の3つがある。

出演者を横浜市内からだけではなく早稲田大学や慶応義塾大学、東京のソロアーティストを呼ぶことで、彼らにも宣伝を行ってもらいより広い範囲で広報活動を行うことができ、イベントを告知するだけでなくみなとみらいの存在も知ってもらうことができた。そして、様々な地域からファンやお客さん、また出演者がこのイベントをきっかけにみなとみらいに集まることで、多くの人がみなとみらいの魅力を認識し、また地域経済の活性化にもわずかながら貢献できたと考える。さらに、イベントに来てくれたお客さんや出演者から「またここでアカペラを聴きたい」「またここで歌いたい」「私もみなとみらいでイベントを企画したいと思う」などの声もいただくことができ、イベントを通してみなとみらいに愛着をもってもらえたのではないかと思う。

私達CAPの目標であり今回のイベントの目標でもある、「アカペラを通してみなとみらいの活性化に貢献すること」は、お客さんや出演者などの「人」を通して実感することができたため、形のないものを提供しているが今後も人への働きかけを中心に活動を行おうと考える。

⑤ 今後の活動展望（課題や活動の広げ方、継続性 等）

効率的な運営と内容の工夫を考え続け、今回よりも高い価値を生みだせるようなイベントづくりを追求し続ける。

今回の課題として、「看板が小さく見づらかった」「一般道確保がうまくいかなかった」という点がある。次回開催する際は、もう少し大きめの看板を今回より多めに用意し、イベントの内容が通りすぎりのお客さんにもわかりやすいように工夫をしようと思う。また一般道の確保について、今回はスタッフが働きかけるだけだったが、次回は色つきのビニールテープ等を用いて自然と気づいてもらえるような仕切りの工夫をすることで、運営の効率化も図ろうと考える。

そして、今回は関東圏内のグループのみでイベントを盛り上げたが、次回は関西など幅広い地域から出演者を呼び、「より多くの人でみなとみらいを盛り上げる」ことを目指そうと考える。そのためには組織が続かなければならないので、現在同期のみなので後輩や他大学サークルの人にも協力を呼び掛けてみようと考えている。

みなとみらいとアカペラで、地域とその地域を訪れる人々にプラスの影響を与えることを目標に、今後も活動を続けていきたいと考えている。

収 支 決 算 書

団体名 CAP (Challenge Acappella Project)

1 収入

項 目	金 額	説明 (負担者及び負担方法等)
交付された助成金 (A)	100,000	
自己資金	25,218	出演者から参加料をいただく分と、グループメンバーでの出資分
合 計	125,218	

2 支出 (助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
機材運搬費	6	3,025	18,450	横浜国立大学-桜木町駅間のタクシー代の往復料金 (プレイベント含む)
交通費	1	3,600	3,600	メンバーと当日スタッフの交通費、打合せにかかった交通費
人件費	1	32,150	32,150	当日PAスタッフ人件費
雑費	1	6,518	6,518	延長コード、郵送費、FAX費、装飾費等
謝金	5	12,900	64,500	
合 計 (B)			125,218	

3 決算後の助成金の額

(1) $(A) \leq (B) \times 4/5$ の場合 (A) の額 円100,000.-

(2) $(A) > (B) \times 4/5$ の場合 (B) \times 4/5 の額 円 .-